

左側：日本赤十字社三重県支部社屋・災害救護支援センター

右側：三重県赤十字血液センター

支部社屋・災害救護支援センターイメージ

三重県における赤十字活動の新しい拠点が令和6年春に誕生します

災害救護を担当する三重県支部と血液事業を担当する血液センターが共に、移転整備を機に津市内陸部の中勢グリーンパークの隣に集結し、三重県における赤十字の新しい拠点が令和6年春に誕生します。

災害時

災害対策本部

三重県が大規模災害で被災した際、災害救護活動の拠点として、全国から参集する救護班要員の一時休憩、資機材の補充、情報収集・調整の機能など災害救護支援センターの役割・機能を備えた施設を目指します。

災害時に速やかに活動をするために

●災害対策本部 ●災害救護用車庫 ●救護物資倉庫 ●災害対策トイレ ●シャワールーム など

救護物資の配布

平常時

平時から三重県や市町(地区・分区)、DMAT、ボランティア等と連携し、協議や訓練・研修を重ね、発災時に必要な連携・協働が可能な赤十字施設を目指します。また、隣接する三重県赤十字血液センターと共に、愛され、親しまれる施設を目指します。

最新の情報は特設サイトで公開中! 詳しくはコチラをご覧ください。

防災・減災セミナー

活動資金にご協力いただき、ありがとうございました

令和3年度 収支報告

支部・管下施設の令和3年度収支決算については、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで集合型にて実施された評議員会において、承認されました。

県民の皆さまからの温かいご支援により、令和3年度も赤十字活動を展開することができました。温かいご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

あたたいご支援 ありがとうございます

収入

316,358,099円

支出

316,358,099円

項目	金額(円)	(%)
1 活動資金収入	249,762,824	78.9
2 委託金・補助金・交付金収入	2,650,647	0.8
3 繰入金収入	35,732,649	11.3
4 資産収入	332,000	0.1
5 雑収入	2,395,845	0.8
6 前年度繰越金	25,484,134	8.1
収入合計	316,358,099	100.0

項目	金額(円)	(%)
1 災害救護等の活動	76,870,326	24.3
2 国際救援事業	38,176,635	12.1
3 講習事業(生命と安全を守る講習)	18,354,433	5.8
4 赤十字ボランティア・青少年赤十字	21,029,978	6.6
5 活動資金増強及び広報活動	22,530,465	7.1
6 市町の赤十字活動	37,099,046	11.7
7 血液・医療事業	12,009,146	3.8
8 支部業務運営管理	35,524,046	11.2
9 庁舎・倉庫管理	21,536,193	6.8
10 翌年度繰越金	33,227,831	10.5
支出合計	316,358,099	100.0

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれていません。

コロナ禍 3年目

対面での講習会を再開しました!

三重県支部では、一般の方を募集して行う対面での講習を、今年の4月から再開しています。「救急法」「水上安全法」「健康生活支援」「幼児安全法」の4つの講習が約120人のボランティア指導員により行われています。

今回の日赤みえでは、対面での養成講習再開をお知らせします。

赤十字養成講習

感染症流行により養成講習の開催数は激減しました。コロナ禍以前の年間受講者数は約16,000人でしたが、コロナ禍の2年間は、受講者数の制限や講習自体の中止もあり、年間受講者数は約5,000人となりました。

講習の開催が難しい中でも、検温、消毒、マスクの着用など感染対策を徹底し根気強く講習を行いました。コロナ禍だからこそ「手洗い講習」など手広く取り組みました。

令和4年度に入ってからは、徐々に対面での養成講習を3年ぶりに再開することができました。

◆詳しくは、お電話にてお問合せいただくか、三重県支部のホームページ等をご覧ください。

オンラインでの講習にも注力

三重県支部は、今後は対面とオンラインそれぞれの特性を活かして1人でも多くの方に、受講頂けるよう、様々な方法で講習普及を続けていきます。

豆知識

「救急法」講習の全国受講者数は年間約54万5千人です。その内の22.6%の12万3千人を日本赤十字社が担っています!

赤十字の活動を支援する様々な「寄付」のカタチ

日本赤十字社三重県支部では、いつも自治会・町内会・赤十字奉仕団の皆さまなどを通じていただくご協力に加え、様々な協力方法を用意しております。

たとえば…

インターネットで

日本赤十字社のホームページからクレジットカード決済でご寄付いただくことにより、継続的に赤十字活動を支援することができます。

たとえば…

遺贈・相続財産寄付で

自分の亡くなった後の財産や故人の遺産を社会のために役立ててほしいといった尊いご意思に応えるため、遺贈・相続財産等のご寄付を承っています。

詳細については、無料のご案内パンフレットがございますので、当支部(TEL:059-227-4145)までお問い合わせください。

たとえば…

不要な本・モノをお金に換えて

ご不要になった本、ゲームソフト、時計・アクセサリ、パソコン等をブックオフにお贈りいただくことで、赤十字活動資金に協力することができます。

様々な協力方法の詳細は、日本赤十字社三重県支部のホームページをご覧ください。

アンケートへのご協力を お願いします

ご協力いただいた方の中から抽選で 10名様にハートラちゃん文房具セットをプレゼント!

WEBフォーム または はがき でご応募ください。 締切: 令和5年2月20日(月) 必着

WEBフォーム

URL

https://forms.office.com/r/MGFrEZ23lp

はがき

①お名前 ②ご住所 ③年齢 ④本誌を読まれた経緯(回覧など) ⑤本誌へのご意見・ご感想 ⑥今後掲載してほしい内容を明記のうえご応募ください。

応募先

〒514-0004 三重県津市栄町1-891 日本赤十字社三重県支部 広報係あて

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。

日赤みえ 2022年度

青少年赤十字は創設100周年を迎えました

三重県総合博物館MieMuで 三重県青少年赤十字まつりを開催しました

活動や イベント・キャンペーンの 情報を発信中! フォローよろしくお願いします!!

HANDベル体験 (久居農林高校)

ウクライナ人道危機義援募金 (飯野高校)

CONTENT

特集

未来のあなたへ、やさしさを。～赤十字は人道の輪をつなげる活動をしています～

■コードブルードクターヘリが出動します!

■コロナ禍3年目、対面での講習会を再開しました!

■アプリ版ラブラッドが登場! ご予約もしやすくなりました

■赤十字の活動を支援するさまざまな「寄付」のカタチ

■三重県における赤十字活動の新しい拠点が令和6年春に誕生します

■アンケートへのご協力をお願いします

■令和3年度収支報告

未来のあなたへ、やさしさを。～赤十字は人道の輪をつなげています～

青少年赤十字について



青少年赤十字のマーク

青少年赤十字(Junior Red Cross通称：JRC)は、赤十字の考え方を通じて、人を思いやり、主体的に行動する子どもを育てることを目的とした活動です。

三重県では、406校・園(令和4年10月1日現在)のメンバーが、それぞれの学校や園で活動をしています。

1922(大正11)年にはじまったこの活動は、今年、創設100周年を迎えました。

？ 青少年赤十字って？

青少年赤十字(JRC)は、子どもたちの「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てる事業です。

子どもたちが「気づき、考え、実行する」過程を重視し、学校の教育方針に基づいて先生が指導者となってさまざまな実践活動を行なっています。

三重県の活動

健康・安全



熊野市立有馬小学校

活動例 小学5年生が岡田牧場の見学をし、「大切に育てた 牛の命をいただいて、私たちが生かされている」というお話を伺い、いのちの大切さを学びました。

国際理解・親善



四日市市立橋北中学校

活動例 2・3年生が英語の時間に、ウクライナの方をゲストティーチャーに招き、ウクライナの自然や文化等について交流し、今自分たちにできることを考えました。

奉仕



鳥羽市立答志中学校

活動例 部活動ごとに、地域の各所で清掃活動を行い、奉仕の心と地域の自然を大切にしようとする意識が育まれました。

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター



夏休みに「良きリーダー」を学ぶため「リーダーシップ・トレーニング・センター」(通称：トレセン)を開催しています。

国際交流

三重県内の中学生が生徒会活動の交流をしたり、外国の方を招いて、それぞれの国の気候や特色、学校の様子などを学び合います。



三重県青少年赤十字まつり

令和4年10月23日(日)三重県総合博物館MieMuにて、青少年赤十字創設100周年記念事業「三重県青少年赤十字まつり」を開催しました。

運営にあたっては、青少年赤十字の高校生が中心となって進めました。

当日は約4,000人が来場し、赤十字の人道を学び、青少年赤十字の活動を楽しく知っていただくとてもよい機会となりました。

今後も、さらなる青少年赤十字活動の普及に努めてまいります。



ジャグリングを披露(白子高校)

高等学校連絡協議会ブース

県下8校の加盟高校が参加し、バルーンアートやジャグリング、ハンドベル体験、防災グッズ展示・募金など高校生たちがJRCの活動を紹介したり、体験できるブースを展開しました。



紀南高校・くろしお学園
ボンチャ体験



高田高校
SDGsクイズ



四日市四郷高校
国内災害義援金募金



木本高校
バルーンアート

飯野高校 …………… ウクライナ人道危機義援募金
白子高校 …………… ジャグリング、車いす体験
久居農林高校 …… ハンドベル体験、手づくり品の販売

赤十字関係者ブース・ステージ・協賛団体企画



屋外のように



AEDを使用した救命処置の体験



炊飯袋を利用した炊き出し体験



献血バスに乗る子どもたち

記念講演「国際赤十字活動と人道支援」

～バングラディッシュ避難民キャンプでの活動を通して～

伊勢赤十字病院・看護部長 安藤恵理さんから、2017年にバングラディッシュに日本赤十字社の医療チームの一員として医療支援のため派遣された経験をお話いただきました。

講演を通して、未来を拓く高校生たちに「自分のできること、したいことを目指して将来に向けて知識を備えることやいろんな経験をすることが必ず自分の成長につながる」とメッセージを送りました。



記念講演の様子



診療所での活動

赤十字のネットワークを通して各国赤十字社・赤新月社のメンバーが集まり、また、他の団体の方々、現地や難民の方々とも協働で活動しました。困っている人を助けたいという同じ思いがあれば同じ方向で動くことができると話されました。

ウクライナ人道危機

世界中の赤十字・赤新月社で…

- 避難民への医療支援
- 食料・生活物資の配布
- こころのケア
- 離散家族の再会

日本赤十字社では…「資金援助」という形で支援

72億2,374万6,459円(令和4年10月25日現在)

→ 現地で800万人の安全な水の提供
71.8万人への保健医療の実施 など



首都キーウで巡回診療を行う医師

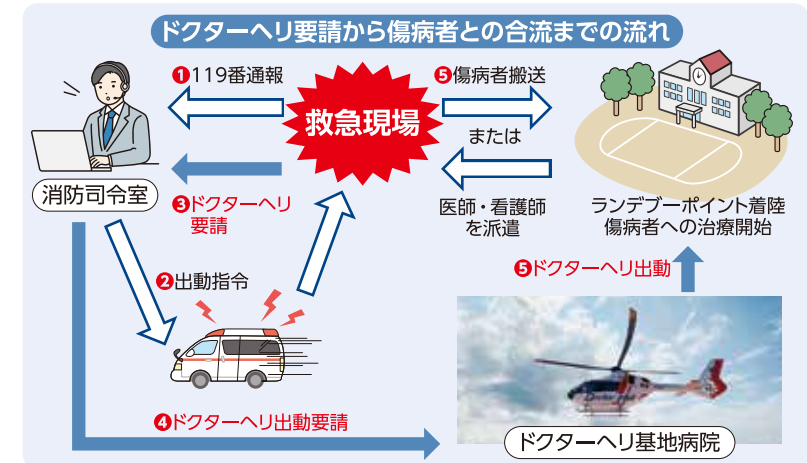
伊勢赤十字病院

コードブルードクターヘリが出勤します！

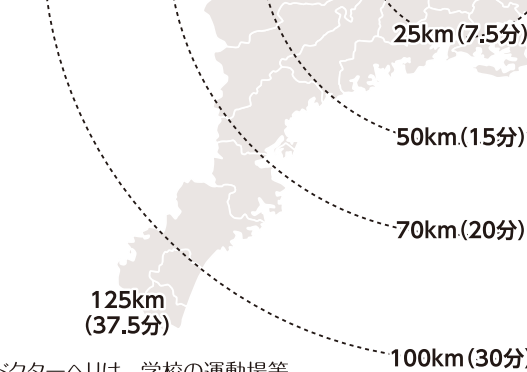
ドクターヘリとは、救急医療に必要な医療機器や医薬品等を搭載したヘリコプターのことで、消防機関からの要請があった際、フライトドクター・フライトナースを乗せて救急現場に急行し、救命医療を行いながら三次救急医療機関等へ患者搬送を行います。

三重県では、伊勢赤十字病院と三重大学医学部附属病院が2か月交代で運航しており、どちらの病院からでも救急現場へは最長でも38分ほどで到着できますので、離島や山間部が多い三重県において、救命率の向上や後遺症の軽減などに大きく貢献しています。

三重県におけるドクターヘリの運航は平成24年2月から開始しており、今年で10年目を迎えました。



伊勢赤十字病院からの飛行時間



ドクターヘリは、学校の運動場等、県内に643カ所ある「臨時離着陸場」で離着陸します。その際、吹き下ろしの風や騒音・砂塵等が発生することがありますが、ご理解の程お願い致します。

参考：https://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/doctorheli/68318043359.htm

三重県赤十字血液センター

アプリ版ラブラッドが登場！ご予約もしやすくなりました

「ラブラッド」とは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。

Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能になりました。献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、安心で安全、より手軽に献血協力ができます。



献血予約

献血未経験者でもアプリから献血予約が可能！お近くの献血会場を選択して手軽に献血できます。

事前問診回答

これまで献血会場でしたことがなかった問診回答がアプリでできます。事前に回答を済ませておくことで、献血会場での時間短縮につながります。



献血Web会員サービス「ラブラッド」会員になると…

- 献血するたびにポイントが貯まり、いろいろな記念品と交換できます。
- 血液の検査結果等の献血記録がアプリで簡単に確認できます。
- 会員限定のいろいろなお知らせやキャンペーン情報をお届けします。

アプリのダウンロードはコチラから！！

